

Refine

水性形二液低汚染遮熱シリコン系上塗材

超低汚染リファインSi-IR



水性形二液屋根用低汚染遮熱シリコン系上塗材

超低汚染リファイン500Si-IR

水性形二液外壁用低汚染遮熱シリコン系上塗材

超低汚染リファイン1000Si-IR

「塗り替え後の美しさがずっと続く」 美観保持性に優れた塗料 『超低汚染リファインSi-IR』

塗り替え後すぐに屋根や外壁がキレイで美しいのは当然。大切なのは「その美しさがずっと続く」こと。

「塗り替え後の美しさがずっと続く」ために求められる機能

超低汚染性・高耐候性・遮熱性を兼ね備えた塗料、

それが『超低汚染リファインSi-IR』です。

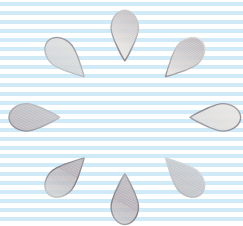
塗り替え直後、建物が美しいのは当然。 大切なのは「その美しさがずっと続く」ことです。

どんな建物でも塗り替え直後は美しい外観になります。

しかし使用する塗料によっては、色あせや塗膜の汚れの影響により、塗り替えてすぐに美しさが損なわれることも。

だからこそ塗り替えの塗料を選ぶ上では「塗り替え後の美しさがずっと続く」ことが大切なのです。

塗り替え後の美しさを長期間保つために、塗料に求められる「3つの性能」



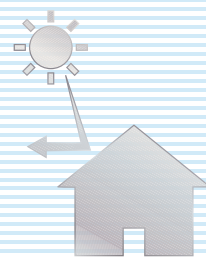
超低汚染性・防カビ・防藻性

汚れ・カビ・藻が付きにくい



高耐候性

紫外線に強く劣化しにくい



遮熱性・遮熱保持性

室内温度の上昇を抑え、
長期にわたって生活環境の快適化に貢献



塗り替え後の美しさを長続きさせるためのあらゆる機能を兼ね備えた塗料『超低汚染リファインSi-IR』

一般的なシリコン塗料では塗膜の劣化や汚れなどが早期に発生し、塗り替え後の美しさが損なわれる可能性があります。
 「超低汚染リファインSi-IR」は、汚れの付着を防ぎ美観を長期間保持する「超低汚染性」、紫外線に強い耐性を発揮する「高耐候性」の他、「遮熱性」を有しています。
 「塗り替え時の美観を長期間保つためのあらゆる機能を有する」塗料です。



■ 一般的なシリコン塗料との性能比較

一般的なシリコン塗料

耐用年数が低く、
 早期に劣化する危険性がある



期待耐用年数
 7~10年

遮熱性

超低汚染性

期待耐用年数
 15~18年

超低汚染リファインSi-IR

優れた3つの性能により
 塗り替え後の美観を長期間保つ





「汚れ」がつきにくく、 塗り替え後の美しさが長く続く

超低汚染リファインSi-IRは
付着した汚れを雨水が洗い流す為、
汚れが定着しにくく、美観の長期間保持に貢献します。

※親水性が発現するまでに2~3か月程要します。

▶一般低汚染シリコン塗料や光触媒塗料と比較して、
雨筋汚れがつきにくく、塗り替え後の美しさを保持することが確認された。

■屋外暴露雨筋試験6か月後比較



超低汚染リファイン
Si-IR

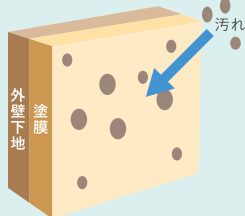
B社低汚染水性二液
シリコン塗料

F社光触媒塗料

超低汚染性を有する2つの理由

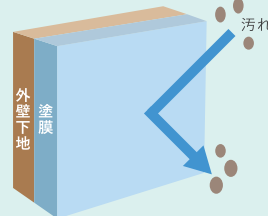
1 「緻密」な塗膜が汚れの定着を防ぐ

■一般的なシリコン塗料



塗膜の緻密性が低いと樹脂の間に
汚れが入り込みやすい

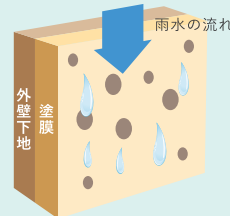
■超低汚染リファインSi-IR



無機成分の配合により塗膜が緻密になり、
汚れの定着を防ぐ

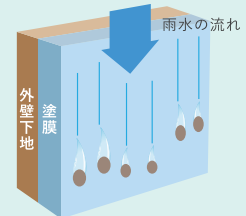
2 「親水性」により汚れが洗い流される

■親水性の低い塗料



親水性が低いと汚れが
流れ落ちず定着する

■超低汚染リファインSi-IR



親水性が高いため、雨水が塗膜と
汚れの間に入り込み、汚れが落ちる

汚染性比較試験 防汚材料評価促進試験(I)※1

超低汚染リファインSi-IRは他社の塗料と比較し、明度の低下が非常に小さく、低汚染性に優れていることが確認されました。

実験前	実験前	実験前	実験前	実験前	実験前	実験前
実験後	実験後	実験後	実験後	実験後	実験後	実験後
超低汚染 リファインSi-IR	A社一般 シリコン塗料	B社低汚染 シリコン塗料	C社低汚染 ナノシリコン塗料	D社低汚染 フッ素塗料	E社低汚染 無機塗料	F社光触媒 塗料

■防汚材料評価促進試験(I)

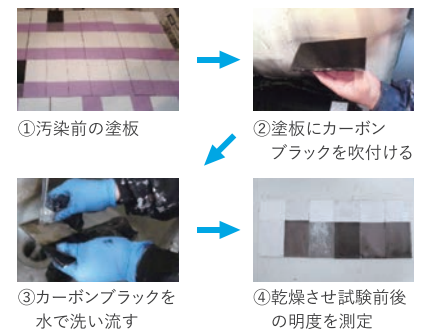
L*値:明るさを表す単位 ΔL:明度の差

塗料名	超低汚染 リファインSi-IR	A社一般 シリコン塗料	B社低汚染 シリコン塗料	C社低汚染 ナノシリコン塗料	D社低汚染 フッ素塗料	E社低汚染 無機塗料	F社光触媒 塗料※2
汚染前L*値	98.6	97.7	98.8	98.3	97.2	98.4	94.6
洗浄後L*値	95.2	50.8	70.0	35.1	51.2	78.6	55.3
ΔL	-3.4	-46.9	-28.8	-63.2	-46.0	-19.8	-39.3

※1:土木研究センターの試験に基づき、社内にて試験を実施。 ※2:光触媒塗料の数値は光の作用が働いていない状態の数値です。

防汚材料評価促進試験(I)の流れ

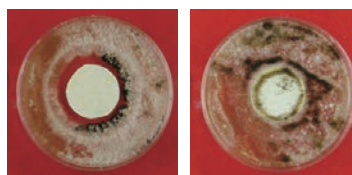
各塗料が塗られた塗板の表面をカーボンブラック分散水(排ガスの成分)にて汚染させた後、水で洗浄し、汚染する前と汚染させた後の明度の差を計測する。



さらに、カビや藻の発生を抑え、
長期間の美観保持に貢献

「JIS Z 2911 かび抵抗性試験」および
「藻抵抗性試験※社内試験による」に合格。
美観保持力の向上につながるとともに、アレルギーの原因にもなる
カビを抑制する、人体にも優しい塗料です。

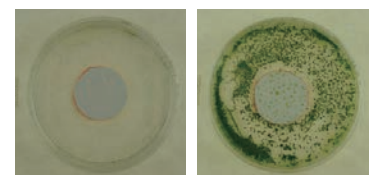
カビ 培養4週間後の様子



超低汚染
リファインSi-IR

汎用塗料

藻 培養4週間後の様子



超低汚染
リファインSi-IR

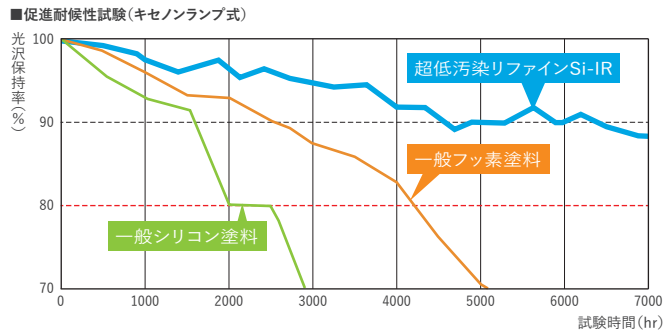
汎用塗料



塗料の劣化要因である紫外線に強い耐性を発揮

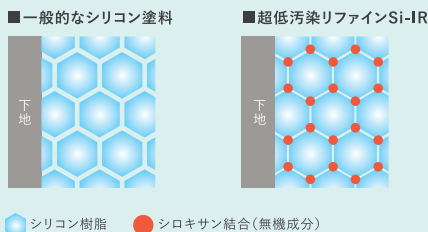
促進耐候性試験(キセノンランプ式)において、4500時間経過後も光沢保持率80%以上を保持(期待耐用年数15~18年)。従来のフッ素塗料と同等の高い耐候性を発揮します。

※あくまで試験環境下における実測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。



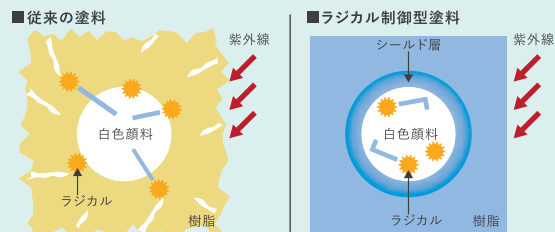
高耐候性を有する2つの理由

1 無機成分の配合



一般的なシリコン塗料に比べ、無機成分を豊富に配合。樹脂同士が強固に結びつき、緻密で強靭な塗膜を形成し、紫外線に対して強い耐性を発揮します。

2 塗膜の劣化要因であるラジカルの発生を抑制



一般塗料の白色顔料の主成分「酸化チタン」は、紫外線の影響を受けると塗膜の劣化因子「ラジカル」を発生し、塗膜を破壊、劣化させてしまいます。超低汚染リファインSi-IRはこのラジカルの発生を抑制する高耐候型酸化チタンを使用。劣化の進行を抑えることができます。



下地の動きに対応し、表面にひび割れが起こりにくい

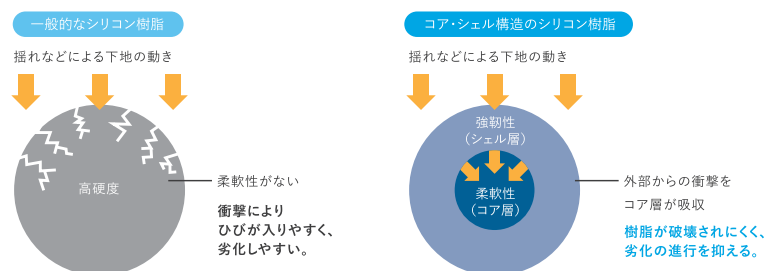
柔軟性を有することで、下地の動きなどにも塗膜が対応するため、塗膜表面のひび割れが起こりにくく劣化の進行を抑えます。

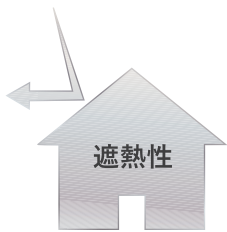
◀超低汚染リファインSi-IRを塗布した鉄板を折り曲げた様子

強靭性と柔軟性を併せ持つ「コア・シェル構造」の採用により、表面のひび割れを抑える。

コア層とシェル層の2層からなるシリコン樹脂を採用。コア層(核部分)は柔軟性を、シェル層(コアの周囲を覆う部分)は強靭性を持ったため、下地の動きなどにより樹脂に衝撃が加わっても柔軟性に優れたコア層が衝撃を吸収。この効果により樹脂が破壊されにくく、劣化の進行を抑えます。

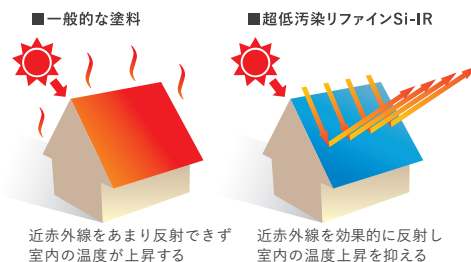
■外部から衝撃が加わった時の樹脂のイメージ図





優れた遮熱性により室内の温度上昇を抑え 生活環境を快適に

太陽光の波長のうち温度上昇の原因となるのは近赤外線(波長:780~2500nm)。超低汚染リファイン Si-IR は特殊遮熱無機顔料の使用により、近赤外線を効果的に反射する塗膜を形成。室内の温度上昇を抑え*、生活環境の快適化に貢献します。
※建物構造、断熱構造、開口部(ガラス窓等)の大きさ・数によって温度変化の程度に差が出ます。



■ 黒色無機顔料の平均日射反射率(%)

780~2500nm(近赤外線領域)	
特殊遮熱無機顔料	44
Fe系遮熱顔料	36
Mn系顔料	17
カーボンブラック	2

遮熱性のメカニズム 遮熱効果の高い、特殊遮熱無機顔料を使用

超低汚染リファインSi-IRは、一般的な塗料に使用されるカーボンブラックなどの顔料よりも日射反射率が高い「特殊遮熱無機顔料」を使用。この特殊遮熱無機顔料が近赤外線を効果的に反射し、高い遮熱性を実現しました。

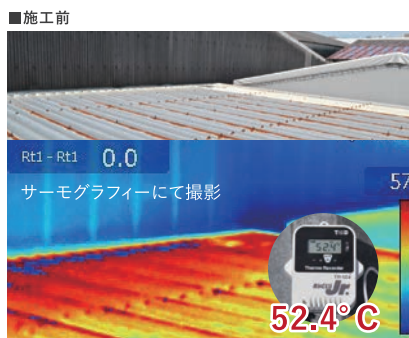
遮熱性比較試験

■ 物件データ

福岡県
株式会社アステックペイントジャパン 第一工場
◎施工前 2015年5月22日 外気温 33.3°C*
◎施工後 2015年6月12日 外気温 38.7°C*

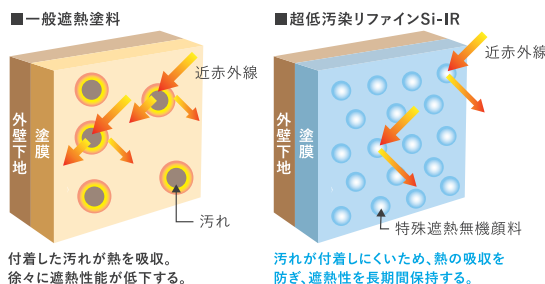
*屋根上での外気温

外気温は5.4°C上昇しましたが、
施工した箇所の表面温度は
17.5°C低下しました。



熱の吸収要因である汚れが付きにくく、 遮熱効果が長期間続く

一般の遮熱塗料は経年とともに付着した汚れが熱を吸収するため、徐々に遮熱効果が低下してしまいます。
超低汚染リファインSi-IRは、塗膜表面が汚れにくい超低汚染性を持つ塗料であるため、汚れによる熱の吸収を防ぎ、長期間経過しても、一般の遮熱塗料よりも遮熱性能を発揮し続けます。



遮熱保持性比較試験 防汚材料評価促進試験(I)*1

塗膜表面をカーボンブラック分散水(排ガス等の成分)にて汚染させた後、水で洗浄し、汚染前と洗浄後の日射反射率から日射反射率保持率を算出しました。その結果、超低汚染リファインSi-IRは他社の塗料と比較し、遮熱保持性に優れていることが実証されました。

■ 防汚材料評価促進試験(I)*1前後の日射反射率比較

	非汚染部 日射反射率(%)	汚染部 日射反射率(%)	反射保持率 (%)
超低汚染リファインSi-IR	91	87	96
A社一般遮熱塗料	90	25	28
B社遮熱シリコン塗料	85	27	32
C社遮熱フッ素塗料	88	42	48
D社変性無機塗料	85	76	89

*1: 土木研究センターの試験に基づき、社内にて試験を実施。

製品ラインナップ

外壁用

水性形二液外壁用低汚染遮熱シリコン系上塗材

超低汚染リファイン1000Si-IR



【施工上の注意】

- B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5°C以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。

【対応素材】

窯業系サイディング・モルタル・ALC・コンクリート・金属サイディング(カラー鋼板※1・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)・波形スレート(外壁)※2・各種旧塗膜
※1:フッ素鋼板は除く ※2:高圧洗浄有り

【試験結果】

- JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 『促進耐候性』4500時間クリアー ※社内試験による
- JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 『容器の中の状態』『表面乾燥性』『塗膜の外観』『ポットライフ』『隠ぺい率』『鏡面光沢度』『耐衝撃性』『付着性(クロスカット法)』『重ね塗り適合性』『耐アルカリ性』『耐酸性』『耐湿潤冷熱繰返し性』 全て合格
- JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法 『防かび性』 合格
- JIS A 6909 建築用仕上塗材 『可とう性』 合格
- 『防藻性』『防汚保持性』 全て合格 ※社内試験による

【製品データ】

荷姿	16kgセット(A液:15kg、B液:1kg)	3.2kgセット(A液:3kg、B液:0.2kg)
塗布量	0.30~0.40kg/㎡	
希釈	ローラーの場合:0~5%(清水) エアレスの場合:5~10%(清水)	
艶	艶有・3分艶	
色	アステック標準色68色	
可使時間	4時間以内(25°C)、2時間以内(35°C)	

【下地調整】

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

屋根用

水性形二液屋根用低汚染遮熱シリコン系上塗材

超低汚染リファイン500Si-IR



【施工上の注意】

- B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- 二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動攪拌機等で十分に混合・攪拌(2分以上)してください。混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
- 二液型塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- 施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5°C以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。

【対応素材】

セメント瓦・カラーベスト・モニエル瓦・アスファルトシングル・金属屋根(カラー鋼板※1・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム・塩ビ鋼板)・波形スレート(屋根)※2・各種旧塗膜
※1:フッ素鋼板は除く ※2:高圧洗浄有り

【試験結果】

- JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 『促進耐候性』4500時間クリアー ※社内試験による
- JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 『容器の中の状態』『表面乾燥性』『低温安定性』『塗膜の外観』『日射反射率』『耐おもり落下性』『鏡面光沢度』『耐酸性』『耐アルカリ性』『耐湿潤冷熱繰返し性』『付着性』『屋外暴露耐候性』 全て合格
- JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法 『防かび性』 合格
- 『防藻性』『遮熱保持性』 全て合格 ※社内試験による

【製品データ】

荷姿	16kgセット(A液:15kg、B液:1kg)	3.2kgセット(A液:3kg、B液:0.2kg)
塗布量	0.30~0.40kg/㎡	
希釈	ローラーの場合:0~5%(清水) エアレスの場合:5~10%(清水)	
艶	艶有	
色	アステック標準色68色	
可使時間	4時間以内(25°C)、2時間以内(35°C)	

【下地調整】

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

超低汚染リファイン1000Si-IR

水性形二液外壁用低汚染遮熱シリコン系上塗材

【窯業系サイディング・モルタル・ALC・コンクリートの標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗※	①エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合:—	0.13~0.20kg/m ²	1~2	2時間以上	2時間以上	—	ローラー/エアレス
				白の場合:1.5~3.0ℓ(清水)						
	②エピテックファイラーAE	16kg	—	0.8~1.6ℓ(清水)	0.30~0.50kg/m ²	1	—	4時間以上	16時間以上	—
0.4~0.8ℓ(清水)				0.80~1.0kg/m ²	多孔質ローラー					
0.4~1.6ℓ(清水)				0.60~1.0kg/m ²	ジュラクガン					
上塗	超低汚染リファイン1000Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

※下塗材に関しては下地に応じて①、②のいずれかをご使用ください。

【金属サイディング(カラー鋼板※・ガルバリウム鋼板・ステンレス)の標準施工仕様】※フッ素鋼板は除く

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ(アステックシンナーDX)	0.13~0.15kg/m ²	1	—	4時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
上塗	超低汚染リファイン1000Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【金属サイディング(アルミニウム)の標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0~1.6ℓ(アステックシンナーDX)	0.16~0.18kg/m ²	1	—	4時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
	エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	超低汚染リファイン1000Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	4時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【セメント瓦・カラーベストの標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラーA液	12.5kg	5	—	0.15~0.30kg/m ²	1~2	3時間以上7日以内	3時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
	サーモテックシーラーB液	2.5kg	1							
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

超低汚染リファイン500Si-IR

水性形二液屋根用低汚染遮熱シリコン系上塗材

【モニエル瓦の標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	モニエルパワープライマー A液	6kg	2	5~7ℓ(清水)	0.15~0.30kg/m ²	1~2	8時間以上7日以内	16時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
	モニエルパワープライマー B液	3kg	1							
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【アスファルトシングルスの標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合:— 白の場合:1.5~3.0ℓ(清水)	0.20~0.25kg/m ²	1~2	2時間以上	2時間以上	—	ローラー/エアレス
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【金属屋根(カラー鋼板※・ガルバリウム鋼板・ステンレス)の標準施工仕様】※フッ素鋼板は除く

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックメタルプライマー	16kg	—	0.8~1.6ℓ(アステックシンナーDX)	0.13~0.15kg/m ²	1	—	4時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【金属屋根(アルミニウム)の標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0~1.6ℓ(アステックシンナーDX)	0.16~0.18kg/m ²	1	—	4時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
	エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【金属屋根(塩ビ鋼板)の標準施工仕様】※容積比で調合してください

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エピテックプライマー A液	10ℓ	1*	—	6.0~8.0m ² /ℓ(0.15~0.22kg/m ²)	1	—	4時間以上3日以内	—	ローラー/エアレス
	エピテックプライマー B液	10ℓ	1*							
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							

【波形スレート(屋根)※の標準施工仕様】※高圧洗浄有り

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
防カビ処理	バリアー	4ℓ	—	16ℓ(清水)	6.0m ² /ℓ(0.18kg/m ²)※希釈時	1	—	0.5時間以上	—	ローラー/エアレス
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30kg/m ²	1~2	3時間以上7日以内	3時間以上7日以内	—	ローラー/エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗	超低汚染リファイン500Si-IR A液	15kg	15	ローラーの場合:0~5% エアレスの場合:5~10%(清水)	0.30~0.40kg/m ²	2	18時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス
	超低汚染リファインSi-IR B液	1kg	1							



製造・販売 株式会社 アステックペイントジャパン
 福岡本社 / 〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8
 東京営業所 / 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-6-1-10F

astec-japan.co.jp

大阪営業所 / 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-5-3 B1
 沖縄営業所 / 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2-1-10